

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(11/7)

文・写真：武田、写真：山 國

日時：2019(令和元)年 11月 7日(木) 9:30～15:30

気象：晴れ(14℃)

活動エリア：45林班ろ-03

活動内容：倒木処理、林床整備、過密広葉樹の除伐

参加者：泉家恵子、石原順子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴志、倉谷邦雄、越野雅美、武田壽夫、
福西勇之介、宮本 廣、山 國 計11名

<特報!! Coming Soon 『あかがし3号』>

2号以来しばらく編集が途絶えていた機関誌『あかがし』はこの程、漸く3号が脱稿、サブタイトル『元気な顔 顔 顔 今日も安全第一で』。2015～18年度の活動ぶり、新入会員の声、さらには安全作業の心得などを中心に**森林づくりへの思いが一杯の読み物を目指した労作**(編集者弁)。本山寺山に来られた方々には順次お渡し中で、里の皆さんには12月に郵送の予定。**乞 ご期待。**

さて、明日8日は立冬、冬 来たりなば⇒活動地は標高が低い45林班へ、6月以来の訪問である。去る4日には昨年より18日早い木枯らし一号の到来。今日の気温は14℃とボトルの水が余るようになって来た。

活動場所は標高の低い45林班ろ-03、物置からは標高100m以上低くモニター地点④の尾根の西側、**一帯は人口林で間伐材が乱雑に放置**されている。勿論、風倒木も散見されるし、所々には自生した広葉樹も混交している。

足下は傾斜地で、山腹を巻く作業道も上方からの表土が流れ落ちている等々、例によって、足下を気遣いながら玉切り、運搬、棚積み、道の補修と様々な作業が待っている。三班に別れ今日も「ヨーイ・ドン」。

<今日の成果>

広闊な地形に散らばった放置木の処理が中心だったせいか、棚積みづくりや倒木の運搬には苦勞したが、チェーンソーのお蔭もあり、全部で0.3haの林床を整備、一日の整備面積としては新記録かも
作業道は60mの路肩を補強、用材は勿論現地調達。

<Episode >

前号に収録した高槻駅前の巣と二つの卵は影も形もなし。今日の「生きもの」は作業小屋のテーブル天板で発見されたカメムシ、マツヘリカメムシかも(北米西部発の外来害虫。松類を加害。2008年に東京都小金井で発見されて以来、関東地方に分布拡大となっている、とのこと)

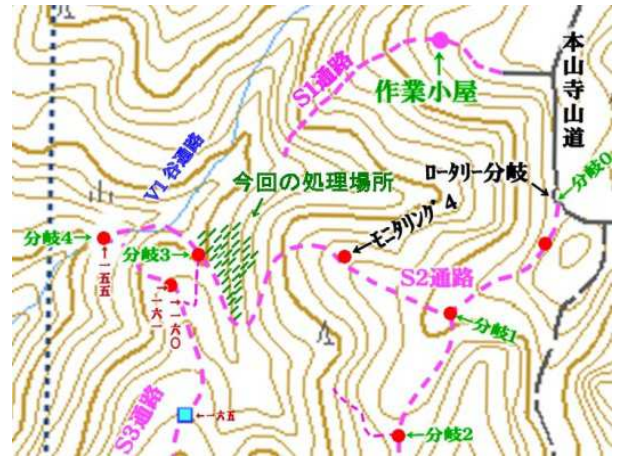
郡上八幡では紅葉が盛りを過ぎかけているそうで、付けたりに機関誌「アカガシ三号」の表紙。

(本文 終り)

【集合写真(開始後)】



【活動地要図－緑色の//////部分】



【溪地に散乱する伐採木】



【仕上がりはご覧の通り】



【大径木はチェーンソーが頼り】



【左写真の棚積み後】



【切り放しがゴロゴロ】



【箸休め：小屋で生きぬくマツヘリカメシ？】



【人力で運ぶ体力勝負】



【白線で囲った整備後の山腹】



【北濃の紅葉(井上会員)】



【あかがし#3：表紙】

あかがし

本山寺山森林づくりの会会報（第3号）



元気な顔 顔 今日も安全第1に

あかがし3号が発行される運びとなりました。2号を発刊してから4年、活動がますます活発になったことは喜ばしいことです。トレイルラン、沢登りのかたらの参加も活発化の一因であったと思います。私は、本会設立以来会長を務めてくれた金井良樹さんの跡を継いで、2016(平成28)年4月から会長を務めることになりました。ご支援ご協力のおかげのほどお願い申し上げますとともに、運営に携わるかたらのご努力に謝礼申し上げます。

森林整備作業は普段あまり使わない距離を使う全身運動で、作業後の心身ともに疲労感、森が再生されていく様を見る充足感も同様にあります。といっても危険を伴う作業でもあります。道のない傾斜のきつい斜面での作業では滑り落ちるかもしれません。伐った木が転がってくるかもしれません。安全にはくれぐれも気を付けて作業してください。元気で安全に活動されることを祈念いたします。